

# 世界小型株 厳選ファンド

【繰上償還 運用報告書(全体版)】

(2024年1月26日から2024年2月8日まで)

第 11 期

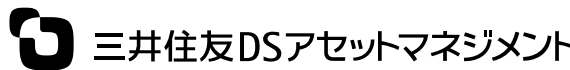
償還日 2024年2月8日

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行いました。ここに当期の運用状況等をご報告いたします。

皆さまのご愛顧ありがとうございました。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

## ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2019年2月1日から2024年2月8日まで
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 <b>世界小型株厳選マザーファンド</b> 世界の金融商品取引所に上場する株式
当ファンドの運用方法	■マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式へ投資し、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 ■マザーファンドにおける運用指図にかかる権限を、アバディーン・インベストメント・マネジメント・リミテッドへ委託します。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 <b>世界小型株厳選マザーファンド</b> ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■年2回(原則として毎年1月および7月の25日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みません。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

## 世界小型株厳選ファンド

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

### ■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) MSCIオールカントリー・ワールド・ スモールキャップ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	株式組入率 株比	純資産額
	(分配落)	税金 分配	騰落 中率			
7期(2022年7月25日)	円 13,160	円 0	% △ 9.5	158.96	% 5.7	百万円 1,574
8期(2023年1月25日)	13,124	0	△ 0.3	162.83	2.4	1,369
9期(2023年7月25日)	14,158	300	10.2	185.41	13.9	1,365
10期(2024年1月25日)	13,440	0	△ 5.1	196.76	6.1	787
(償還日) 11期(2024年2月8日)	(償還価額) 13,427.09	0	△ 0.1	197.14	0.2	767

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

### ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(参考指数) MSCIオールカントリー・ワールド・ スモールキャップ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	株式組入率 株比
	騰落率	騰落率		
(期首) 2024年1月25日	円 13,440	% —	196.76	% —
1月末	13,436	△0.0	198.22	0.7
(償還日) 2024年2月8日	(償還価額) 13,427.09	△0.1	197.14	0.2

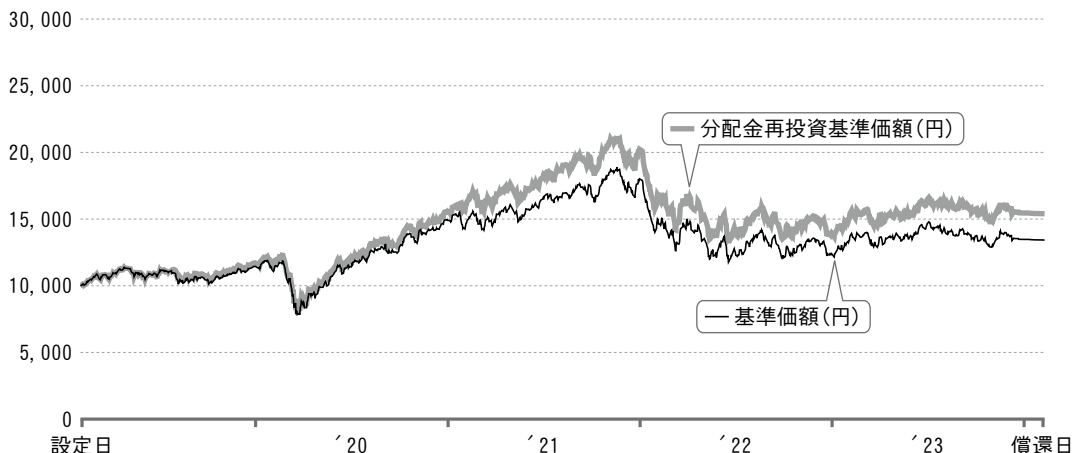
※騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

## 世界小型株厳選ファンド

### 設定以来の運用状況(設定日(2019年2月1日)から償還日(2024年2月8日)まで)

#### 設定以来の基準価額の推移



### 前期までの運用の概略(設定日(2019年2月1日)から第10期末(2024年1月25日)まで)

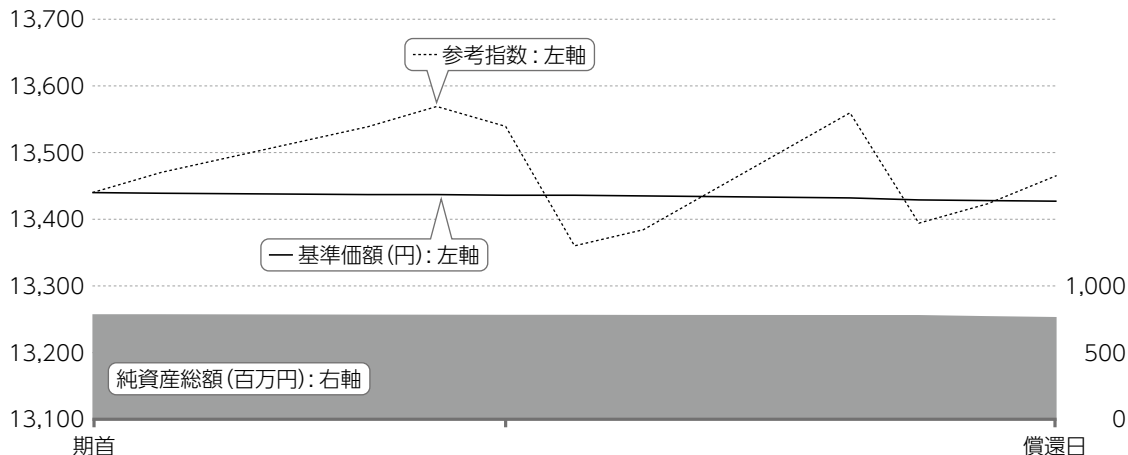
当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式に投資を行いました。

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期間において、相対的に低調に推移した不動産セクターをアンダーウェイトとしたこと</li> <li>・ 期間において、好調に推移した資本財・サービスセクターをオーバーウェイトとしたこと</li> <li>・ オーバーウェイトとしていた、ウェアラブルカメラ等のセキュリティ装備品を開発・販売するAxon Enterprise Inc(米国)や、世界的にビジネスを展開しているスポーツアパレルメーカーのASICS Corporation(日本)の株価が上昇したこと</li> </ul>
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期間において、相対的に低調に推移した一般消費財・サービスセクターをオーバーウェイトとしたこと</li> <li>・ 期間において、相対的に低調に推移したコミュニケーション・サービスセクターをオーバーウェイトとしたこと</li> <li>・ 循環器医療機器メーカーのABIOMED Inc(米国)の株価が、製品の有効性が疑問視され売上高が低調となったことから下落したこと</li> <li>・ 再生可能資源から製造された製品を販売するバイオ製品会社のCorbion NV(オランダ)をオーバーウェイトとしていたものの、市場予想を下回る弱い内容の決算を発表し株価が下落したこと</li> </ul>

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2024年1月26日から2024年2月8日まで)

## 基準価額等の推移



※参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	13,440円
償還日	13,427円09銭
騰落率	-0.1%

※当ファンドの参考指数は、MSCIオールカントリー・ワールド・スモールキャップ・インデックス(配当込み、円換算ベース)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

### 基準価額の主な変動要因(2024年1月26日から2024年2月8日まで)

当ファンドでは、繰上償還決定に伴い2023年11月にマザーファンドの全ての保有銘柄を売却し安定運用に移行しました。

投資環境について(2024年1月26日から2024年2月8日まで)

期間におけるグローバル小型株式市場はほぼ横ばいとなりました。為替市場は米ドルを中心に対円で概ねほぼ横ばいとなりました。

### グローバル株式市場

期間のグローバル小型株式市場はほぼ横ばいとなりました。12月の米PCE(個人消費支出)物価指数は、エネルギーと食品を除くコア指数(前年同月比)が前月から伸び率が縮小し市場予想も下回ったことや、10-12月期の米GDP(国内総生産)速報値が市場予想を上回る伸びとなったことは期初の株式市場全体を後押ししました。しかし、その後、2024年1月末に開催されたFOMC(米連邦公開市場委員会)では、市場の予想通り4会合連続で金利据え置きが決定され、利下げに対してオープンな姿勢が示唆された一方で、直ちに利下げが必要なわけではないとの認識が示されました。そのため、市場が期待していた3月利下げのシナリオは遠のく形となり、金利上昇・株価下落に転じました。米国の大型ハイテク株を中心に好決算が発表されたことや、雇用の堅調さが確認されたことで、大型株を中心に盛り返しを見せましたが、グローバル小型株市場は期間を通じてはほぼ横ばいとなりました。

### 為替市場

為替市場は金利動向に応じて上下しましたが、期間を通じてはほぼ横ばいとなりました。

## 世界小型株厳選ファンド

ポートフォリオについて(2024年1月26日から2024年2月8日まで)

### 当ファンド

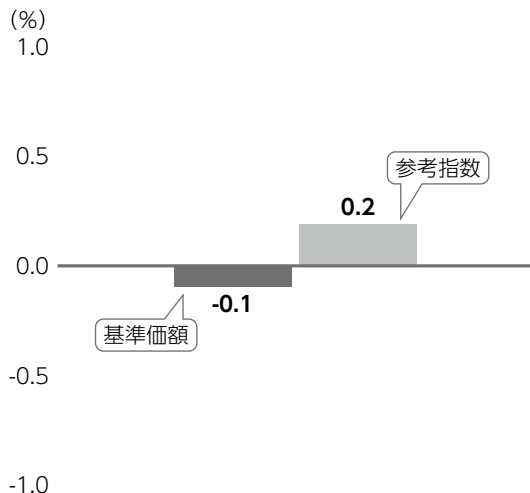
期初より、主要投資対象である「世界小型株厳選マザーファンド」を、期間を通じて高位に組み入れました。その後、2024年2月8日に繰上償還となりました。

### 世界小型株厳選マザーファンド

繰上償還決定に伴い2023年11月に全ての保有銘柄を売却し安定運用に移行しました。その後、2024年2月7日に繰上償還となりました。

ベンチマークとの差異について(2024年1月26日から2024年2月8日まで)

### 基準価額と参考指数の騰落率対比



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCIオールカントリー・ワールド・スモールキャップ・インデックス(配当込み、円換算ベース)を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

分配金について(2024年1月26日から2024年2月8日まで)

償還のため、該当事項はございません。

## 2 今後の運用方針

償還のため、該当事項はございません。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

該当事項はございません。



## 世界小型株厳選ファンド

### 1万口当たりの費用明細(2024年1月26日から2024年2月8日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
<b>(a) 信託報酬</b>	<b>10円</b>	<b>0.074%</b>	<b>信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数)</b> 期中の平均基準価額は13,434円です。
(投信会社)	(6)	(0.041)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(4)	(0.031)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(0)	(0.001)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
<b>(b) 売買委託手数料</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数</b> 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(-)	(-)	
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
<b>(c) 有価証券取引税</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数</b> 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(-)	(-)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
<b>(d) その他費用</b>	<b>0</b>	<b>0.000</b>	<b>その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数</b>
(保管費用)	(-)	(-)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(-)	(-)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
<b>合計</b>	<b>10</b>	<b>0.074</b>	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

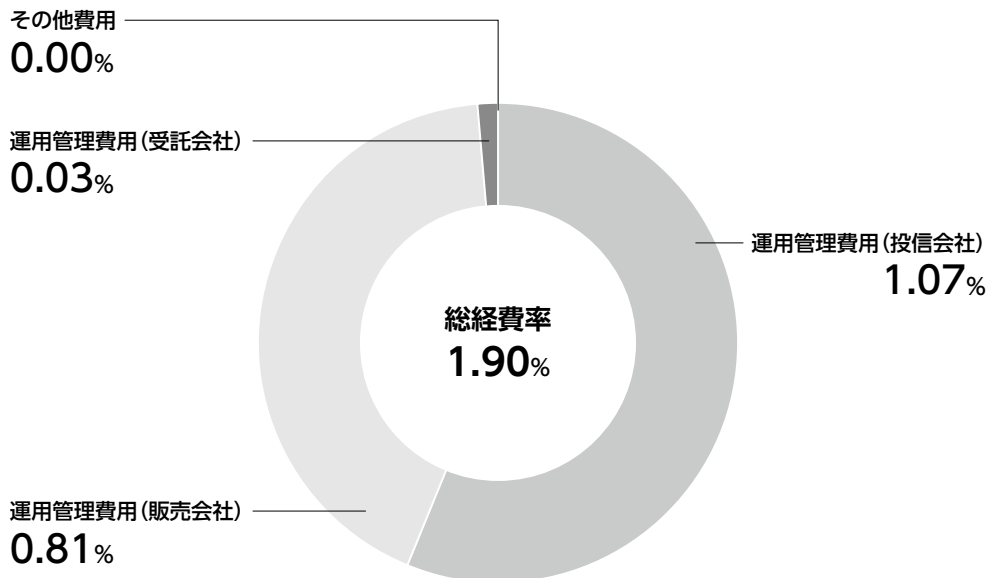
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.90%です。

## 世界小型株厳選ファンド

### ■ 当期中の売買及び取引の状況 (2024年1月26日から2024年2月8日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
世界小型株厳選マザーファンド	千口 -	千円 -	千口 463,435	千円 785,063

### ■ 利害関係人との取引状況等 (2024年1月26日から2024年2月8日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年1月26日から2024年2月8日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

### ■ 組入れ資産の明細 (2024年2月8日現在)

親投資信託残高

種 類	期 首(前期末)	期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
世界小型株厳選マザーファンド	千口 463,435	千口 -	千円 -

### ■ 投資信託財産の構成

(2024年2月8日現在)

項 目	期	末
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 782,286	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	782,286	100.0

■ 資産、負債、元本及び償還価額の状況

(2024年2月8日現在)

項 目	償 還 時
(A) 資 産	782,286,514円
コール・ローン等	782,286,514
(B) 負 債	15,278,073
未払解約金	14,656,490
未払信託報酬	621,338
未払利息	245
(C) 純資産総額(A-B)	767,008,441
元 本	571,239,614
償還差損益金	195,768,827
(D) 受益権総口数	571,239,614口
1万口当たり償還価額(C/D)	13,427円9銭

※当期における期首元本額586,139,007円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額14,899,393円です。

※上記表中の償還差損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり償還価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2024年1月26日 至2024年2月8日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 258円
支 払 利 息	△ 258
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 121,465
売 買 益	2,637
売 買 損	△ 124,102
(C) 信 託 報 酬 等	△ 621,338
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 743,061
(E) 前期繰越損益金	△ 22,509,059
(F) 追加信託差損益金	219,020,947
(配当等相当額)	( 176,430,101)
(売買損益相当額)	( 42,590,846)
(G) 合 計(D+E+F)	195,768,827
償 還 差 損 益 金(G)	195,768,827

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託報酬の中から支弁している額は188,616円です。

## 世界小型株厳選ファンド

### ■ 投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2019年2月1日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2024年2月8日		資産総額	782,286,514円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	15,278,073円
受益権口数	250,000,000口	571,239,614口	321,239,614口	純資産総額	767,008,441円
元本額	250,000,000円	571,239,614円	321,239,614円	受益権口数	571,239,614口
				1万口当たり償還金	13,427円9銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	1,526,255,793	1,667,410,757	10,925	250	2.50
第2期	1,703,499,288	1,965,283,528	11,537	150	1.50
第3期	1,395,649,078	1,659,251,810	11,889	50	0.50
第4期	1,224,999,223	1,810,034,794	14,776	800	8.00
第5期	1,594,118,986	2,662,592,823	16,703	400	4.00
第6期	1,354,232,164	1,969,784,743	14,545	0	0.00
第7期	1,196,595,720	1,574,677,997	13,160	0	0.00
第8期	1,043,907,298	1,369,984,617	13,124	0	0.00
第9期	964,488,674	1,365,485,058	14,158	300	3.00
第10期	586,139,007	787,776,325	13,440	0	0.00

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

# 世界小型株厳選マザーファンド

第6期（2024年1月26日から2024年2月7日まで）

信託期間	2019年2月1日から2024年2月7日まで
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■世界の金融商品取引所に上場する株式のうち、小型株を主要投資対象とします。</li> <li>■組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。</li> <li>■運用指図にかかる権限をアパディーン・インベストメント・マネジメント・リミテッドへ委託します。</li> </ul>

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ■ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) MSCIオールカントリー・ワールド・ スモールキャップ・インデックス (配当込み、円換算ベース)		株式組入率 比	純資産額
	期騰落	中率	期騰落	中率		
	円	%		%	%	百万円
2期（2021年1月25日）	16,787	37.8	134.11	17.5	96.5	1,810
3期（2022年1月25日）	17,284	3.0	150.46	12.2	95.9	1,970
4期（2023年1月25日）	15,913	△7.9	162.83	8.2	97.8	1,369
5期（2024年1月25日）	16,943	6.5	196.76	20.8	—	785
（償還日）	（償還価額）					
6期（2024年2月7日）	16,940.06	△0.0	196.52	△0.1	—	778

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

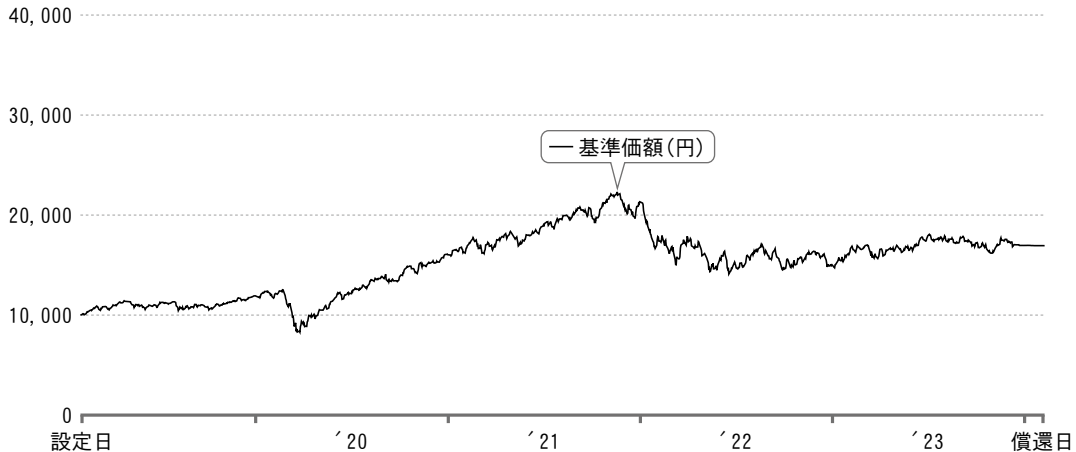
## ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(参考指数) MSCIオールカントリー・ワールド・ スモールキャップ・インデックス (配当込み、円換算ベース)		株式組入率 比
	騰落	率	騰落	率	
（期首） 2024年1月25日	円 16,943	% —	196.76	% —	% —
1月末	16,943	0.0	198.22	0.7	—
（償還日） 2024年2月7日	（償還価額） 16,940.06	△0.0	196.52	△0.1	—

※騰落率は期首比です。

設定以来の運用状況(設定日(2019年2月1日)から償還日(2024年2月7日)まで)

設定以来の基準価額の推移



前期までの運用の概略(設定日(2019年2月1日)から第5期末(2024年1月25日)まで)

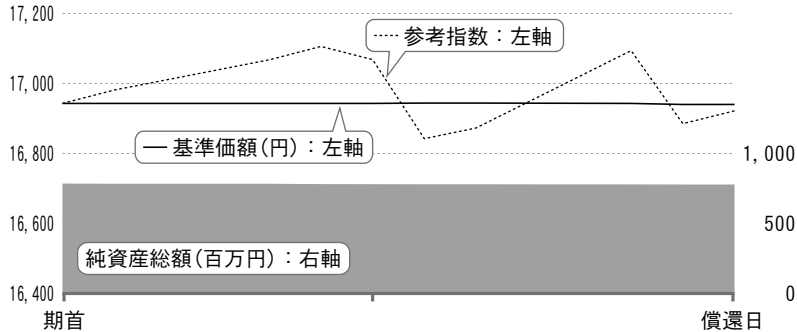
世界の金融商品取引所に上場する株式のうち、小型株を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して運用を行いました。

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期間において、相対的に低調に推移した不動産セクターをアンダーウェイトとしたこと</li> <li>・ 期間において、好調に推移した資本財・サービスセクターをオーバーウェイトとしたこと</li> <li>・ オーバーウェイトとしていた、ウェアラブルカメラ等のセキュリティ装備品を開発・販売するAxon Enterprise Inc(米国)や、世界的にビジネスを展開しているスポーツアパレルメーカーのASICS Corporation(日本)の株価が上昇したこと</li> </ul>
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期間において、相対的に低調に推移した一般消費財・サービスセクターをオーバーウェイトとしたこと</li> <li>・ 期間において、相対的に低調に推移したコミュニケーション・サービスセクターをオーバーウェイトとしたこと</li> <li>・ 循環器医療機器メーカーのABIOMED Inc(米国)の株価が、製品の有効性が疑問視され売上高が低調となったことから下落したこと</li> <li>・ 再生可能資源から製造された製品を販売するバイオ製品会社のCorbion NV(オランダ)をオーバーウェイトとしていたものの、市場予想を下回る弱い内容の決算を発表し株価が下落したこと</li> </ul>

# 1 運用経過

## ▶ 基準価額等の推移について（2024年1月26日から2024年2月7日まで）

### 基準価額等の推移



期首	16,943円
償還日	16,940円06銭
騰落率	-0.0%

※参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

※当ファンドの参考指数は、MSCIオールカントリー・ワールド・スモールキャップ・インデックス（配当込み、円換算ベース）です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

## ▶ 基準価額の主な変動要因（2024年1月26日から2024年2月7日まで）

繰上償還決定に伴い2023年11月に全ての保有銘柄を売却し安定運用に移行しました。



### ▶ 投資環境について（2024年1月26日から2024年2月7日まで）

期間におけるグローバル小型株式市場はほぼ横ばいとなりました。為替市場は米ドルを中心に対円で概ねほぼ横ばいとなりました。

#### グローバル株式市場

期間のグローバル小型株式市場はほぼ横ばいとなりました。12月の米PCE（個人消費支出）物価指数は、エネルギーと食品を除くコア指数（前年同月比）が前月から伸び率が縮小し市場予想も下回ったことや、10-12月期の米GDP（国内総生産）速報値が市場予想を上回る伸びとなったことは期初の株式市場全体を後押ししました。しかし、その後、2024年1月末に開催されたFOMC（米連邦公開市場委員会）では、市場の予想通り4会合連続で金利据え置きが決定され、利下げに対してオープンな姿勢が示唆された一方で、直ちに利下げが必要なわけではないとの認識が示されました。そのため、市場が期待していた3月利下げのシナリオは遠く形となり、金利上昇・株価下落に転じました。米国の大型ハイテク株を中心に好決算が発表されたことや、雇用の堅調さが確認されたことで、大型株を中心に盛り返しを見せましたが、グローバル小型株市場は期間を通じてはほぼ横ばいとなりました。

#### 為替市場

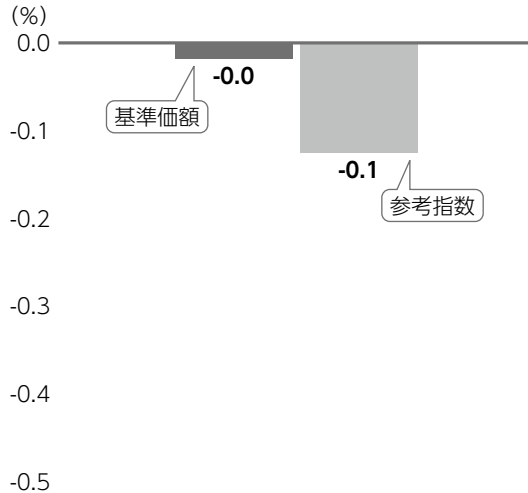
為替市場は金利動向に応じて上下しましたが、期間を通じてはほぼ横ばいとなりました。

### ▶ ポートフォリオについて（2024年1月26日から2024年2月7日まで）

繰上償還決定に伴い2023年11月に全ての保有銘柄を売却し安定運用に移行しました。その後、2024年2月7日に繰上償還となりました。

▶ ベンチマークとの差異について (2024年1月26日から2024年2月7日まで)

基準価額と参考指数の騰落率対比



当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCIオールカントリー・ワールド・スモールキャップ・インデックス（配当込み、円換算ベース）を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

## 2 今後の運用方針

償還のため、該当事項はございません。

■ 1万口当たりの費用明細 (2024年1月26日から2024年2月7日まで)

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) そ の 他 費 用	2円	0.014%	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送入金・資産の移転等に要する費用 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
（保 管 費 用）	(2)	(0.014)	
（そ の 他）	(0)	(0.000)	
合 計	2	0.014	

期中の平均基準価額は16,943円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。  
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。  
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2024年1月26日から2024年2月7日まで)

当期中における記載すべき項目はありません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2024年1月26日から2024年2月7日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2024年1月26日から2024年2月7日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2024年2月7日現在)

償還日現在の組入れはありません。

■ 投資信託財産の構成

(2024年2月7日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	778,870	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	778,870	100.0

## ■ 資産、負債、元本及び償還価額の状況

(2024年2月7日現在)

項 目	償 還 時
(A) 資 産	778,870,262円
コール・ローン等	778,870,262
(B) 負 債	499,301
未払解約金	496,367
未払利息	232
その他未払費用	2,702
(C) 純資産総額(A-B)	778,370,961
元 本	459,485,315
償還差損益金	318,885,646
(D) 受益権総口数	459,485,315口
1万口当たり償還価額(C/D)	16,940円6銭

※当期における期首元本額463,435,299円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額3,949,984円です。

※上記表中の償還差損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※期末における元本の内訳は、世界小型株厳選ファンド459,485,315円です。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり償還価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。

## ■ 損益の状況

(自2024年1月26日 至2024年2月7日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 2,933円
受 取 利 息	372
支 払 利 息	△ 3,305
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 24,255
売 買 損	△ 24,255
(C) そ の 他 費 用 等	△ 112,071
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 139,259
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	321,767,429
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 2,742,524
(G) 合 計(D+E+F)	318,885,646
償 還 差 損 益 金(G)	318,885,646

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。